

あなたの地域のイノシシ侵入防止柵は大丈夫ですか？

－ワイヤーメッシュ柵点検のコツ－



日野郡鳥獣被害対策協議会実施隊 チーフ 木下 卓也

田んぼの準備に入る前の3月中旬、日南町内の集落から「ワイヤーメッシュ柵（以下「メッシュ柵」）をしているが、昨年は被害が出て収穫できなかった、柵を見てもらいたい」と相談を受けました。

メッシュ柵は農地をぐるりと囲む形で約900m設置されており、定期的な点検もされていました。ところが、当協議会の隊員がメッシュ柵をチェックした結果、なんと100カ所以上の補修が必要な場所が見つかり、集落総出で補修を行いました。

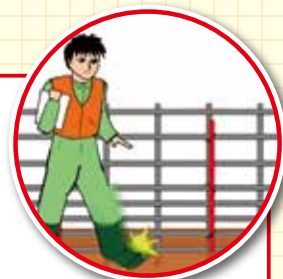
問題は、補修が必要な場所がたくさんあることではなく、点検の際に見落としていたことです。点検における目視以外の「コツ」を紹介します。

【コツ1】足蹴り確認！

メッシュ柵の下部を蹴ってみて、ビクともしなければ大丈夫！

ピロピロと揺れる場合は補修が必要です。下部がしっかりしていないとイノシシによる柵の持ち上げや掘り返しによる侵入の可能性が高くなるので注意が必要です。原因としては、以下のようことが考えられます。

- メッシュの下部が地面に刺さっていない。
- メッシュ下部が腐食しているか、一番下の結束が外れている。
- 動物に持ち上げられている、または地面を掘られている。



地面から浮いている



腐食して切れている



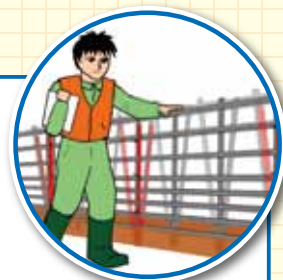
持ち上げられている

【コツ2】ゆさぶり確認！

メッシュ柵上部を手で揺さぶってみて、ビクともしなければ大丈夫！

メッシュ4～5枚先まで揺れが伝わるようだと、支柱の打ち直しや補強などの補修が必要です。原因としては、以下のようことが考えられます。

- 結束がゆるい、または外れている。
- 支柱の穴が広がっている。
- 地面が柔らかくなっている。



結束がゆるい



結束が1ヶ所しか残っていない



メッシュ柵の外側を掘られている

メッシュ柵の次回点検時には、これらのコツを実践してみてください。また、設置・点検・補修の方法などに不安や疑問がありましたら、町役場または日野郡鳥獣被害対策協議会にお問い合わせください。

（問）日野郡鳥獣被害対策協議会 電話：0859-72-1399

表紙写真について



タイトル：「日野川に架かる幸せの虹橋(日野町)」

撮影者：日野町 野坂 正昭 氏 日野町おしどり学園(写真講座)

撮影者コメント：「私は、虹の魅力に憑りつかれて写真撮影をすること50年。虹は、雨上がりなどに発生し、太陽を背にして見ることができます。通常虹は弧を描くように架かりますが、水平に架かる環水平アーチや夜の虹など珍しいものもあります。様々な虹を撮影し、幸せな気分になっています。」

※環水平アーチ 大気中の氷晶に太陽光が屈折して起こり、水平線上の薄雲に虹色の光の帯が見えるもの。